

これからの田野地区について みんなで考えてみませんか？

これまで講演会、座談会、検討会を開催し、田野地区の地域づくりが少しずつ動き始めており、これからも地域課題の解決に向けた話し合いを続けていく予定ですが、この取り組みは一部の人のみで行うのでは効果はありません。田野地区にお住まいのみなさんと一緒に今後ますますずっと暮らしていける田野地区を作り上げていきたいと思っています。

ぜひ、これを契機に、これからの田野地区について一緒に考えていただければ幸いです。下記にアンケートを用意しましたので、忌憚のないご意見をお寄せください。また今後もコロナウイルス感染拡大の状況に応じてアンケートや座談会の開催も検討しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(田野地域づくり準備委員会 一同)



皆さんからのご意見をお待ちしています！

☆アンケートの返信方法

※①～③の方法のうち、返信しやすい方法で返信をお願いします

- ①田野公民館へ下記アンケート部分を切り取り直接持参（公民館郵便ポストへ投函）
- ②田野公民館FAX（0898-68-7501）にこのページを送信
- ③田野公民館メール（tano-k@saijo-city.jp）に下記アンケート内容を本文に記入し送信

返信期限：8月9日（日）までにご返信ください

持参する際の切り取り線

田野地区の地域づくりに関するアンケート

年齢 _____ 歳代

質問① この通信を読んだ感想を教えてください

性別 男性・女性

質問② 今後、田野地区がどんな地域になれば良いと思いますか？

ご協力ありがとうございました

創刊号
2020年7月発行

田野 地域づくり通信

発行元：田野地域づくり準備委員会

地域を取りまく環境は少子高齢化や人口減少などの影響から年々厳しくなりつつあります。田野地区も例外ではなく、みなさんの所属する各種団体においてもその影響によって各種事業や伝統行事を継続することが難しくなっているのではないのでしょうか。そこで、現在田野地区では、地域を見直し、今後ますます暮らしていける地域であるために、田野地区としてどうすべきかを話し合っています。この通信では、これまでの話し合いの経緯や話し合いでどのような意見が出ているのかをお伝えします。

西条市政策アドバイザーをお招きし、 地域づくりのヒントを学びました！

◆田野地区「地域づくり講演会」～実践に学ぶこれからの地域づくりのヒント～

開催日時：2019年12月9日（月）19:30～21:00

開催場所：田野小学校 体育館

講師：櫻井 常矢氏（高崎経済大学教授・西条市市民協働に関する政策アドバイザー）

参加者：約130名

私たちが暮らす地域をどのようにしていけば、より暮らしやすくなるのかについて、西条市の政策アドバイザーである櫻井先生をお招きし、これまでの経験や実践、さらには西条市の現状などを踏まえ講演をいただきました。当日は130名を超える参加者が田野小学校の体育館に集まりました。

櫻井先生の講演では、「なぜ今、地域づくりが必要なのか」を他地区の事例を交えて紹介いただき、最後のまとめにこれからの地域づくりで大切なことを右記のとおり伝えていただきました。



《これからの地域づくりで大切なこと》

- ・目標・ビジョンを共有する
「どんな地域にしたいのか」
- ・横のつながりをつくる
「従来の関係を見直し、活かす」
- ・話し合いの文化を
根付かせる





第1回 田野地区地域づくり座談会を開催 地区内での話し合いがスタートしました！

◆第1回 田野地区地域づくり座談会

開催日時：2020年2月17日（月）19:00～21:00

開催場所：田野公民館

講師：櫻井 常矢氏（西条市市民協働に関する政策アドバイザー）

参加者：田野地区にお住まいの方 54名

地域づくり講演会を受けて、田野を次の世代に引き継いでいくためにも今みんなで考えなければ、各種団体に呼びかけ地域づくりの座談会を開催しました。講演会に引き続き、櫻井先生に協力いただいて、参加者同士が4、5人で話せるテーブルに分かれ質問に沿って多くの意見を出していきました。参加者には高校生もあり、これからの田野を考える場として有意義な会となりました。

◆座談会で出た意見のまとめ

質問1：田野地区の「良いところ」や「地域の努力」を教えてください

- 環境美化活動を頑張っている
- 農業が盛んで美味しい農産物がある
- 子どもの見守りを頑張っている
- 穏やかで真面目な人間性
- 伝統文化の継承・地域行事を頑張っている
- 豊かな自然がある
- リサイクル活動を頑張っている
- 地域内交流が盛んで、住民の繋がりが強い

質問2：暮らしの中で気になること、心配なこと、改善したいことを教えてください

- 少子高齢化・人口減少が深刻化
- 生活が不便・移動手段がない
- 安全・安心への不安
- 地域内の話し合いが不足
- 鳥獣被害
- 農業に関する担い手不足や耕作放棄地の増加等
- 伝統文化・地域行事を継続することが困難になってきている
- 今まで維持管理できていたものが難しくなってきた
- 一人暮らし高齢者の増加・高齢者の生活
- 地域の担い手の固定化・高齢化
- 空き家の増加
- 環境美化が行き届いていない



いま何ができるかを考える 地域づくり検討会を開催しました！

◆田野地区地域づくり検討会

開催日時：2020年4月16日（木）19:00～21:00

開催場所：田野公民館

参加者：田野地区にお住まいの方 17名

座談会で出た地域の課題や、コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から、多くの行事や会議が中止や延期されているなかで今後何ができるかを話し合いました。

◆検討会で出た意見のまとめ

質問1：座談会で出た地域課題の解決に向け、この会で出来ることは何だと思えますか？(コロナウイルス感染拡大が収まったとき、どんなことが出来るか?)

- 話し合う機会を増やす、みんなの意見を聞く
- 会の雰囲気をよくする、意見の言いやすい会に
- 地域の実情に即した組織づくり
- 田野地区の地域づくりに関わる人を増やす、全世代を巻き込む
- 清掃活動や見守り活動を増やす
- 田野の現状を把握する
- 先入観を捨てるような意識改革
- 各地区負担の軽減

質問2：コロナウイルス感染拡大防止の対応をしながらでも出来ることは何だと思えますか？

- 田野地区の現状を把握し、地域内で共有する
- 地域の皆の意見を集める、生徒・学生からも意見をもらう
- 勉強会を開催する
- 各種団体の活動を知る
- 〇上記を実行するために必要な具体案
⇒回覧板や掲示板、意見募集BOXを設置
⇒インターネット、LINEなどのSNSを通じて情報収集・発信

